

# 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果 <<速報>>

草津市教育委員会  
令和元年7月31日

## 調査実施日：4月18日

- 調査の目的**
  - 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
  - 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 調査対象**

小学校調査 市内公立小学校6年生 1,276人  
中学校調査 市内公立中学校3年生 1,094人
- 調査内容**

**①教科に関する調査**（小学生：国語、算数 中学生：国語、数学、英語）  
基礎的な知識・技能の定着を確認する問題と知識・技能を活用して解答する問題を一体的に問う問題が出題されました。

**②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査**

  - 児童生徒に対する調査**  
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査  
(例)家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
  - 学校に対する調査**  
指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査  
(例)教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか。
- 調査の方法**

**◎小学校**（児童質問紙は、3時間目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施）

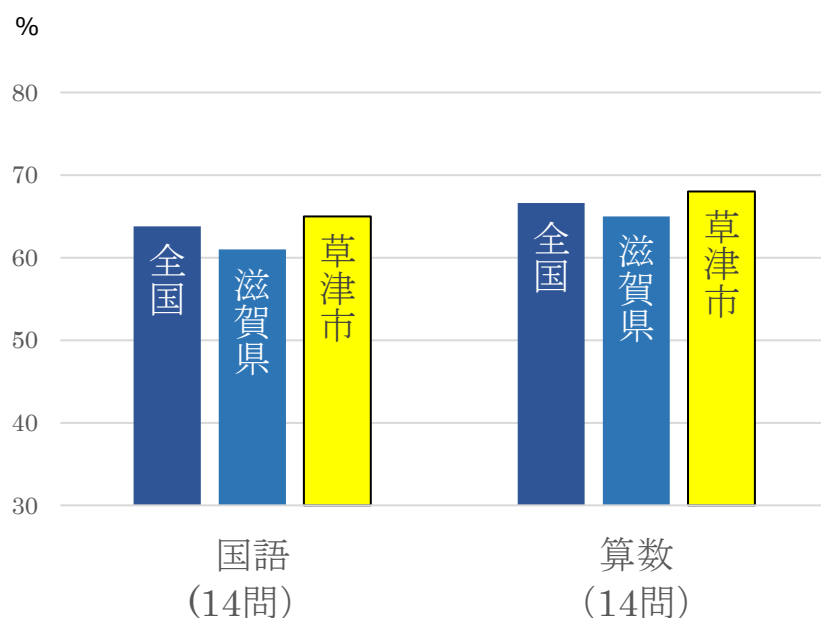
1時間目	2時間目	
国語(45分)	算数(45分)	児童質問紙

**◎中学校**（生徒質問紙と英語「話すこと」は、4時間目終了後以降に、各学校の状況に応じて実施）

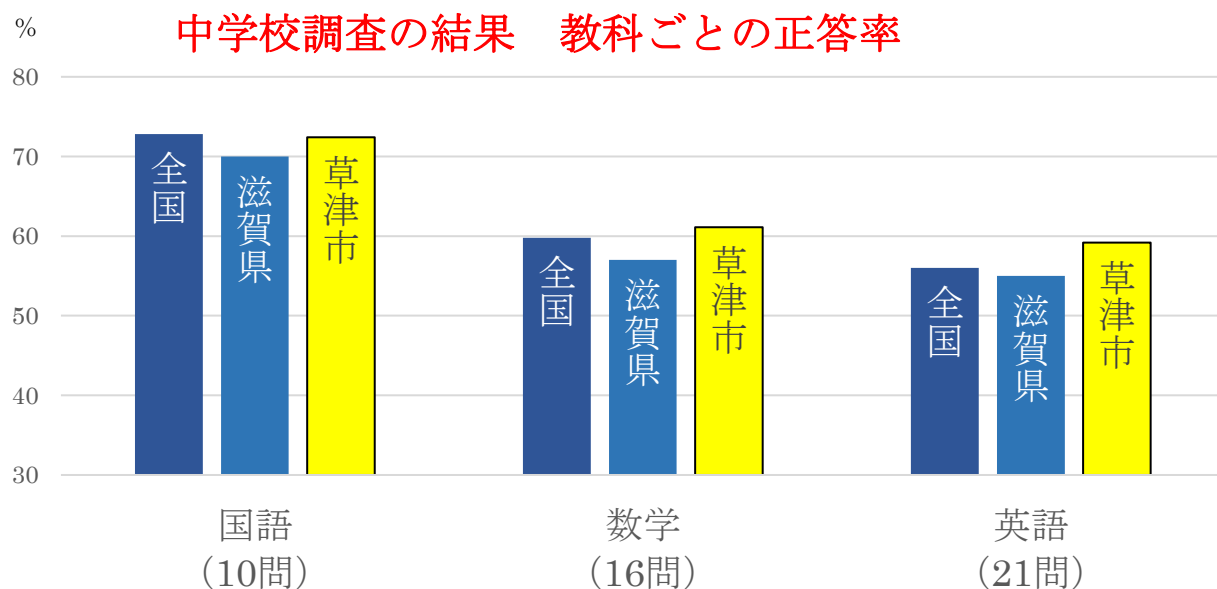
1時間目	2時間目	3時間目		
国語(50分)	数学(50分)	英語(45分) 「聞くこと」 「読むこと」 「書くこと」	英語(5分) 「話すこと」	生徒質問紙

## 教科に関する調査結果

### 小学校調査の結果 教科ごとの正答率



### 中学校調査の結果 教科ごとの正答率



※英語の「話すこと」調査については、全国的にみてパソコン整備等が間に合わず実施できなかった学校もあるため、自治体単位の結果の公表については行われませんでした。そのため、上記に示す英語の結果については、公表されている「聞く・読む・書く」の3技能の合計をグラフにしています。

## 各教科の結果概要

### ◆小学生の結果概要

#### 国 語

**出題のねらい** 目的に合わせて、文章の内容を正しくとらえ、自分の考えを持ちながら読むことができるか、また、図表やグラフを使い、自分の考えを文章で書くことができるかを調べる問題が多く出題されました。話し手の思いを聞いたり、自分の考えをまとめたりする力が求められています。

**草津市の結果** 全14問中12問が全国平均以上の正答率で、概ね調査問題に対応できる学力が身につけていると判断できます。特に、食べ物の保存についてまとめているノートの空欄に、授業の流れを想定して適切な内容を書く問題では、79.8%の児童が正解しており、これまで課題であった「書くこと」について改善が見られました。

#### 算 数

**出題のねらい** 日常生活の問題をもとに考えたり、他の資料と関連付けたりできるかをみる問題が多く出題されました。二つの数量を見つけて数学的に考える力や図形について筋道を立てて考え表現する力、計算方法に気づき応用問題に当てはめて考える力が求められています。

**草津市の結果** 全14問中11問が全国平均以上の正答率で、概ね調査問題に対応できる学力が身につけていると判断できます。また、これまでから課題であった「 $6 + 0.5 \times 2$ 」のような小数が混在している四則計算の正答率が全国平均より8.1ポイント上回るとともに、それぞれの問いで「無解答率」の値が昨年度から比べて低くなりました。

## ◆中学生の結果概要

### 国語

**出題のねらい** 文章にあるものの見方や考え方について自分の考えをもつことができるかを確かめていたほか、封筒の書き方を理解して書くことができるか、また、言葉の一部を省いて表現することができるかをみる問題が出題されました。さらに、話合いの内容から、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力が求められています。

**草津市の結果** 話合いの流れを踏まえて自分の考えを書く問題の正答率が全国平均を2ポイント上回る結果で、普段の授業の中で言語能力の定着が図られていることが分かります。「封筒の表書き問題」など、学んだことを生活に生かす力に課題が見られました。

### 数学

**出題のねらい** 四則計算と連立二元一次方程式を用いて具体的な問題ができるか、また関数を使って数学的に表現することができるか、問題を数学的に考えて確率を求めることができるかをみる問題が出題されました。さらに、図形の性質を使って筋道を立てて考えたり、資料の傾向を読み取り数学的な表現を用いて説明したりする力が求められています。

**草津市の結果** 四則計算や連立二元一時方程式の計算、記述式解答が求められる問題について改善が見られました。特に図形に関する問題は75.4%の生徒が正解しており、関数に関する問題についても式とグラフを関連付けて考えることができるようになってきています。一方、読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から読んだ本の冊数の最頻値を求める問題のように資料を読み解いて対応する力に課題が見られました。

### 英語

**出題のねらい** 英語を聞いて話の内容をとらえて適切に応じることができるか、また、英語を読んで話の内容を理解することができるか、英語の基本的な単語や文法を理解して正しく文を書くことができるかをみる問題が出題されました。英語を読んで自分の考えを表現できるよう、話の内容や書き手の意見をとらえる力が求められています。

**草津市の結果** 初めての調査でしたが、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3領域すべてにおいて、全国平均を上回る正答率でした。日常的な話題について、英語で書かれた文章を読み取る問題では、85.3%の生徒が正解しており、簡単な単語や語句で書かれた文章を読み取るできています。

## 生活習慣や学習環境に関する調査結果

### ◆児童生徒に対する調査

小学生を対象にした58項目の「児童質問紙」結果のうち、「伸ばしていきたいと考える項目」と「今後改善が必要と考える項目」を掲載します。

#### 《小学生》

※数字は、質問に対して「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えた児童の割合を表示しています。

(単位：%)

伸ばして いきたい と考 える 項 目	・授業でコンピュータなどのICTを週1回以上使用していた。	草津市	74.2
		全 国	30.6
	・授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う。	草津市	70.7
		全 国	62.5
	・今住んでいる地域の行事に参加している。	草津市	74.8
		全 国	68.0
	・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。	草津市	70.0
		全 国	65.7
	・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思う。	草津市	83.5
		全 国	80.9

(単位：%)

今 後 改 善 が 必 要 と 考 え る 項 目	・算数の勉強は好きだ。	草津市	65.0
		全 国	68.6
	・家で自分で計画を立てて勉強をしている。	草津市	70.5
		全 国	71.5
	・自分には、よいところがあると思う。	草津市	80.3
		全 国	81.2
	・昼休みや放課後、学校の休みの日に、本を読んだり借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館に週1回以上行く。	草津市	16.5
		全 国	17.2

## 《中学生》

中学生を対象にした69項目の「生徒質問紙」結果のうち、「伸ばしていきたいと考える項目」と「今後改善が必要と考える項目」を掲載します。

※数字は、質問に対して「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と答えた生徒の割合を表示しています。

(単位:%)

伸ばしていきたいと考える項目	・授業でコンピュータなどのICTを週1回以上使用していた。	草津市	71.0
		全国	30.6
	・英語の授業で、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う。	草津市	87.5
		全国	77.2
	・英語の授業はよくわかる。	草津市	71.5
		全国	66.0
	・英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	草津市	89.2
		全国	85.4
	・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	草津市	78.7
		全国	76.2

(単位:%)

今後改善が必要と考える項目	・国語の勉強は好きだ。	草津市	55.1
		全国	61.7
	・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う。将来の就きたい仕事に就いたり、叶えたい夢を実現させるためには、英語の力は必要になると思う。	草津市	36.9
		全国	41.3
	・昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために学校図書館・学校図書室や地域の図書館に週1回以上行く。	草津市	4.0
		全国	8.3
	・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。	草津市	36.3
		全国	39.4

## 草津市学力向上策の点検

草津市において平成30年度に、市内小中学校校長の代表を含めた「草津未来のカプロジェクト」を立ち上げ、学力向上策の検討を進めてきました。その中で、下の表のような市内共通の達成目標を設定し、各校の取組の目安としました。各校の校長のリーダーシップのもと、教職員による学校全体の取組を通して、子ども一人ひとりの学力の着実な定着と向上につなげていきます。

本年度は、8項目の指標のうち、小学校では6項目について、中学校では4項目について目標を達成することができました。

草津市 学力向上目標	学力向上策の指標内容	小学校		中学校	
		目標値	実績値	目標値	実績値
粘り強く取り組む 子どもの育成	① 全国学力・学習状況調査問題での無解答率	4%以下	4.3%	5%以下	5.9%
	② 「家で、自分で計画を立てて勉強している。」の肯定率	70%以上	70.5%	60%以上	52.8%
基礎学力の確実 な定着を図る	③ 全国学力・学習状況調査問題での「基礎学力強化層」の割合 ※全国学力・学習状況調査の正答率が40%以下の児童生徒の層	全国平均を 下回る	市 14.8% 国 15.5%	全国平均を 下回る	市 19.3% 国 20.2%
	④ 「算数・数学の勉強が好き。」の肯定率	60%以上	65.0%	60%以上	55.8%
発展的な課題に 挑む力を育成する	⑤ 全国学力・学習状況調査問題での「活用力向上層」の割合 ※全国学力・学習状況調査の正答率が80%以上の児童生徒の層	全国平均を 上回る	市 30.1% 国 27.5%	全国平均を 上回る	市 42.8% 国 43.0%
	⑥ 「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。」の肯定率	80%以上	80.0%	70%以上	73.8%
	⑦ 「授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していたと思いますか。」の肯定率	60%以上	70.7%	50%以上	56.8%
	⑧ 「学級の友達と話し合う活動を」通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」の肯定率	80%以上	77.9%	70%以上	73.4%

※ ○印は、目標を達成したものです。

## 調査結果を踏まえて

### 1 草津市学力向上策の見直しをします。

- 調査結果と分析で明らかになった新たな課題を共有します。
- 新たな課題に対応できる、令和元年度版「草津市学力向上策」を作成します。

### 2 草津市学校教育「令和の四改革」を推進します。

- 「教え方改革」、「学び手改革」を通して、主体的・対話的で深い学びにつながる授業をめざします。
- 「働き方改革」、「マネジメント改革」を通して、より質の高い、信頼される教育の提供、学校づくりに努めます。

### 3 調査結果を分析し、各学校での2学期からの取組を計画し、実践します。

- 分析結果をもとに「我が校の学力向上策」を協議し、新たな課題に対応できるものにします。
- 実効性ある取組のための体制を検討し、教職員が共通の目標をもって推進します。
- 分析結果と今後の取組を子どもや保護者に公表します。